学　び　舎（まなびや）

～清和台南小学校　学校通信　第8号～
平成28年11月8日

子どもたちの主体的な活動を

～清南まつり･児童会活動～

運動会も終わり、「動」から「静」へと学校生活が切りかわる後半、落ち着いた学習と共に大切なのが、子どもたちの自治活動です。

清南まつり

11月4日（金）に開催された「清南まつり」は、２年生から６年生までの各クラスが、企画段階からアイデアを出し合い協力し、たくさんの来場者に喜んでもらおうと工夫する「児童会行事」です。

当日は、的当てやコイン落とし、迷路やまちがい探しなど、さまざまな出し物が披露されました。特に、６年生のお化け屋敷は人気で、それぞれの会場前にはたくさんの行列ができていました。

今回感心したのは、さまざまな出し物にいろいろな工夫がされていたことです。お化け屋敷は暗い中を移動することもあって、イスや机をしっかり固定し、クッションを配置して安全面でも配慮し、ゲームでも子どもたちが手作りで作成していたものをプレゼントするなどしていました。

１年生「清和台幼稚園との交流」

今回出し物がなかった１年生も、その前の週に、清和台幼稚園との交流で、自分たちが考えた出し物に園児を招待し、お兄さんお姉さんとして、小学生としての取り組みを披露していました。

まつりに先がけた10月28日（金）の児童朝会では、計画委員が司会をして、各学級の取り組みを発表し、出し物をアピールする機会もありました。

このように子どもたち自身が企画・計画したり、その企画を協力しながら実行したりすることで、子どもたち自身が自分たちの生活を見直したり、一緒に生活する仲間の思いを理解したりする機会が増え、結果的に自治活動に関する意識を高める取り組みになればと考えています。

同じ児童朝会では、給食委員の「後片付けチェック」の表彰や今週から始まる「ハートハッピー週間」にちなんだ図書委員会のおすすめ本の紹介もありました。また、来週には保健委員会の「ハンカチ・ティッシュ調べ」も始まります。「学び合い」は授業だけでなく、学校生活の活動の中にもあるのです。

児童朝会「給食委員会　表彰」

学びのモデルとして　～市指定研究発表会～

10月21日（金）に川西市指定の校内研究発表会が開催されました。今年度、「伝え合う力を育てよう　～個の学びから全体の場へ～」を研究主題に、２年２組『お手紙』、３年２組『ちいちゃんのかげおくり』、そして６年１組が『海の命』の公開授業を行いました。前日まで、それぞれの単元目標を踏まえ、低中高学年の各ブロックで授業や意見交流をし、発表に臨みました。

当日は、どの先生も落ち着いたそして丁寧な授業でした。また、子どもたちの活動も活発で、多くの児童が手を挙げて積極的に発表していました。授業を見ていて感じたのは、どのクラスも教師と児童のしっとりとした信頼関係が基盤になっているということでした。毎日の授業の成果が研究授業に表れているのだと感じました。

全体会では、来賓の牛尾教育長にもご挨拶をいただき、研修担当から本校のこれまでの取り組みについて報告しました。その後、昨年度から継続的に指導助言をいただいている、奈良佐保短期大学講師の川端建治先生に、「『深い学びの過程』を生み出す学習づくり～一人学びが生きる学び合いを～」と題してご講演をいただきました。新学習指導要領にも関連するアクティブ・ラーニングにも言及されながら、それぞれの授業者の授業についても具体的なご助言をいただき、大変わかりやすく、より実践的な講演でした。

研修には「ここで終わり」ということはありません。子どもたちの学びのモデルとして謙虚に学び合う、そんな姿勢をこれからも大切にしていきたいと考えています。

地域の力が結集～文化祭･PTA祭～

10月29日（土）30日（日）に本校を会場として、「清和台地区文化祭」が開催されました。前日の準備の際は少し雨も降り天候が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、例年通り、体育館でのグループ発表やグランドでの各種露店など、盛大で活気ある文化祭となりました。

29日（土）は、和太鼓の演奏の後、市立清和台幼稚園のダンスや県立川西明峰高校ダンス部の発表、２日目の30日（日）の最後には、清和台南小有志によるダンスも発表されました。就学前・小中高等学校、そして地域の方々と世代を超えた交流がここ清和台の地区にあることを強く感じた二日間でした。

また、一週間前の22日（土）には清和台地区のPTA祭が開催されました。年度当初から何度も話し合いを重ねてようやく実現したこの企画、当日はたくさんの子どもたちや保護者の方々が集まって大盛況でした。PTA役員の方々、本当にご苦労様でした。